

平成27年2月6日

各 位

会社名 マブチモーター株式会社

代表者名 代表取締役社長 大越 博雄

(コード番号6592 東証第1部)

問合せ先 執行役員管理本部長 伊豫田 忠人

(TEL. 0 4 7 - 7 1 0 - 1 1 2 7)

# 業績予想の修正及び営業外収益(為替差益)の計上 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 2 月 6 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、昨年 8 月 5 日に開示した平成 26 年 12 月期(平成 26 年 1 月 1 日~平成 26 年 12 月 31 日)の業績予想及び 1 株当たり配当予想について修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 当期の連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

							売上	: 高	営業	利益	経常	常利益	当期約	純利益	1株当たり 当期純利益	
								万円	•	万円		百万円	Ī	<b></b>	円銭	
前	回	発	表	予	想	(A)	117,	500	14,	, 900	1	6, 500	12	2, 400	176. 86	
今	口	修	正	予	想	(B)	122,	540	16,	, 870	2	3, 920	18	3, 090	258. 00	
増		減		額	(B	-A)	5,	040	1,	, 970		7, 420	5	5, 690		
増		海	烖		率	(%)		4.3		13. 2		45.0		45. 9		
(ご参考) 前期実績 (平成25年12月期)					108,	401	9,	, 335	1	6, 672	10	), 519	150. 10			

注)当社は、平成27年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、1株当たり当期純利益の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

## 連結業績予想修正の理由

平成26年12月期通期(平成26年1月1日~平成26年12月31日)の売上高は、平成26年8月5日に開示しました前回予想を4.3%上回る1,225億4千万円となる見通しとなりました。自動車電装機器市場が米国及び新興国の需要に支えられ堅調に推移し、円安の影響もあり売上高全体を押し上げました。利益面につきましては、プロダクトミックスが計画以上に改善したことに加え、為替レートが想定よりも円安に推移したことなどから、営業利益は前回予想を13.2%上回る168億7千万円となる見通しです。また、経常利益は円安進行により為替差益が想定よりも増加したことで前回予想を45.0%上回る239億2千万円、当期純利益は前回予想を45.9%上回る180億9千万円となる見通しとなりました。

## 2. 営業外収益(為替差益)の計上

平成26年12月期において、昨今の為替相場の変動により、為替差益51億2千万円を営業外収益に計上する見通しです。

また、平成26年12月期の個別決算におきましても、為替差益47億4千万円を営業外収益に計上する見通しです。

#### 3. 配当予想の修正

				年間配当金						
				第2四半期末	期末	合計				
前	口	予	想	円銭	円 銭	円 銭				
(平	成 26 年 8	月5日発	表)		83.00	166.00				
今	回修	正 予	想		131.00	214. 00				
当	期	実	績	83.00						
前 (平	期 成 25 年 12	実 2月期)	績	53. 00	87. 00	140. 00				

注) 当社は、平成27年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、上記については当該株式分割前の平成26年12月期末の配当予想の額を記載しております。

## 配当予想修正の理由

当社は原則的な配当算定基準として、長期安定的な配当である1株当たり年60円(平成27年1月1日の株式分割前)の普通配当を継続的に実施し、これに事業成果としての連結純利益の30%を1株当たりに換算した特別配当を併せて実施することとしております。この算定基準に基づき、上記の連結業績予想の上方修正に伴う、配当予想の増額修正を行うものであります。

これにより、平成 26 年 12 月期末の配当金予想は 1 株当たり 131 円 (普通配当 30 円、特別配当 101 円)、第 2 四半期末の配当と合わせた年間の配当金予想は 1 株当たり 214 円 (普通配当 60 円、特別配当 154 円)となります。

- 注)上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。
  - ・ 円並びにアジア通貨の為替相場の変動
  - ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
  - ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
  - ・ 銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

以上